



弁士
石井ひろお



弁士 県議会議員
佐藤健一郎

自民党演説会

【とき】平成22年7月7日⑧
15:00～
【ところ】自民党秋田県
由利本荘市第二支部

石井ひろお氏は、野球選手・野球解説者としての評価は勿論の事、実業家としても高い評価がされており、卓越した識見と行動力で必ずや「郷土秋田」の力になる人物であると確信を致しております。私は心から推薦申し上げます。

佐藤 健一郎



■矢島町の懇談会にて



■鳥海町の懇談会にて



■由利地区の懇談会にて



■東由利地区の訪問企業にて

鳥海とそれに連なる圏域の
発展こそ私の願い。
県議会議員五期二十年目を
日々全力で活動し続けています。

自由民主党
秋田県由利本荘市第二支部
〒015-0404
由利本荘市矢島町七日町字熊の堂4
●電話 / 0184-27-5511
●ファックス / 0184-55-2324
●E-mail ken-sato@chokai.ne.jp
●http://ken-sato.sakura.ne.jp/

春からの異常とも思えるような低温続きの毎日に農業関係者のみならず、様々な消費動向にも影響を与えている事に、多くの県民が不安を抱いているのではないのでしょうか。国政においても国民の選択によって政権交代がなされながら政策的に非常に不安定な状態が続いております。政治も天候も生活に支障の無い安定した状況を望むものです。安心・安全な秋田県政のため、自民党会派が一致結束してがんばります。ご支援よろしくお願いたします。 (広報委員)

自由民主党会派と県民をつなぐ

Link

2010.6 No.16



美しく咲く。

ごあいさつ

政権交代後の政治状況は益々混迷の度合いを深め、民主党による政権運営は、拙劣そのもので国民の期待を全く裏切るものであります。マニフェストと称して掲げた国民に対する公約はもはや実現不可能であり、普天間基地を巡る迷走劇は正に目を覆うばかりであります。今や我が国の国益は国内的にも国際的にも大きく損なわれております。

そのような中、県政においては本格的な佐竹カラーが色濃く出された2010年度予算が動き出しました。新しい県の方針となる「ふるさと

秋田元気創造戦略」を柱とし、少子化対策、スポーツ振興、産業育成、新エネルギー創出、環境対策などに力を入れ、秋田県に元気、活力、誇りを取り戻せるよう、県当局と県議会自民党会派が車の両輪となって邁進していかねばなりません。

政権担当能力があるとは思えない民主党は、国と地方の将来に大きな不安を感じさせておりますが、私共自民党会派は議会における責任を自覚しながら、秋田県発展のため全力を尽くして参ります。



自由民主党会派 会長
鈴木 洋一

自由民主党会派と県民をつなぐ

Link

ご質問、ご意見をお聞かせください。
本紙が皆さまから親しんでいただけたよう編集に反映させたいと考えています。

編集◎秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号(県議会内)
TEL.018-860-2040 FAX.018-860-2102

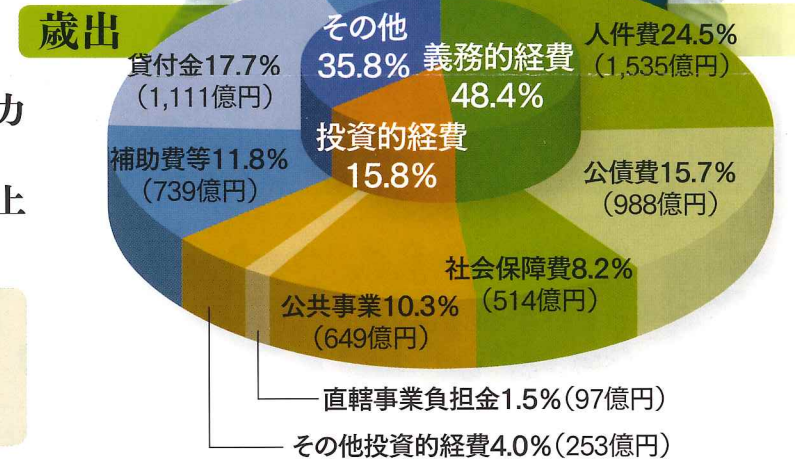
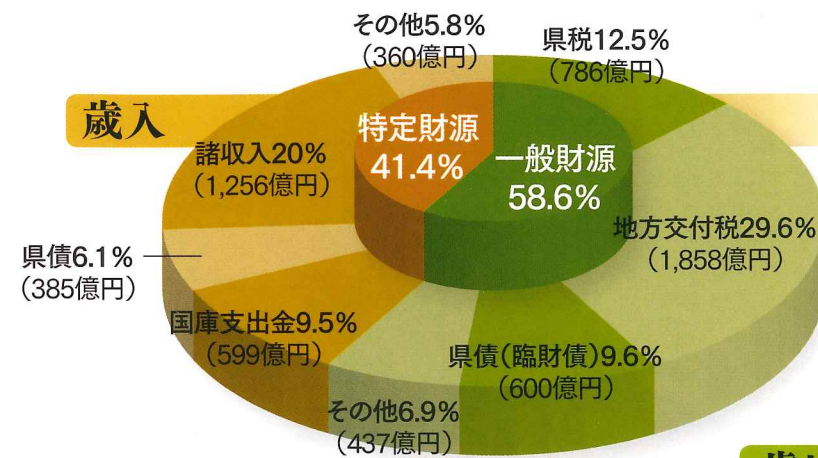
発行◎平成22年6月16日

秋田の「元気」を創造する 平成22年度 予算!始動!!



「ふるさと秋田元気創造プラン」元年となる県の平成22年度予算がスタートしました。当初の一般会計総額は6,281億円、6月補正後の規模は、6,327億円です。「スポーツ振興」「新産業の創出」「経済・雇用対策」「脱少子化対策」など佐竹知事カラーを色濃く出し特徴ある政策で秋田県に「元気」を創り出す意気込みを感じ取って下さい。

平成22年度 当初予算 **6,281**億円 (対前年比3.5%増)



引き続き、切れ目のない「経済・雇用対策」に力を入れます。
当初、6月補正を合わせて新たに2,500人以上の雇用を創出します。

- 国の基金を活用した2,000人規模の雇用創出
- 農業研修、職場訓練は、300人以上を対象
- 更に、6月補正では、262人の雇用創出の追加

I. ふるさと秋田元気創造プランに関する予算 258億円

元気A 秋田に新しい戦略産業を!

- 秋田の強みを生かした環境・リサイクル産業の拠点化を推進 **10.9**億円
- 環日本海貿易やビジネス交流を拡大 **19.6**億円

本年度の注目事業

- 新エネルギー産業創出・育成事業 **1**億円

新エネルギー産業戦略会議の設置、次世代自動車インフラ研究会の開催、燃料電池の導入促進等を行います。

元気B 秋田の「食・農・観」を丸ごと売り出す!

本年度の注目事業

- 農業発、新ビジネス展開支援事業 **0.2**億円

他産業と連携した農業法人や、直売組織等の新たなビジネス展開を支援します。

元気C 県民一丸となって脱少子化秋田を!

- 子育て等に対する経済的支援 **59.3**億円

乳幼児医療費や保育料に対する助成、私立高校の授業料を支援する制度の創設等を行います。

本年度の注目事業

- 少子化対策応援ファンド基金造成事業 **2**億円

民間団体における脱少子化に向けた取り組みを支援する「少子化対策応援ファンド」を創設します。

元気D 本格的な超高齢社会の到来に対する備えを!

- 周産期医療体制や救命救急機能の充実 **33.9**億円
- がん検診推進事業 **0.4**億円

高度医療機能の拡充、中核的な病院の早期改築など、県民の公平な受診機会の確保に向けた取り組みを支援します。

子宮がん検診に対する助成、「がん検診受診勧奨センター（仮称）」による情報提供、休日のがん検診の実施等を推進します。

II. スポーツ・教育・文化に関する予算 74億円

III. 県と市町村の協働の推進に関する予算 55億円

IV. 経済・雇用対策に関する予算 732億円



平成22年度6月補正予算の概要、注目の新規事業!

【一般会計】
 ◎補正額 4,541,677千円
 ◎補正後の規模... 632,654,677千円

I. ふるさと秋田元気創造プランに基づく施策 952,771千円

- 1 秋田に、新たな“戦略産業を創出”する(元気A)
 - ①スマートグリッド関連技術実証事業
- 2 秋田の、“食・農・観”を丸ごと売り出す(元気B)
 - ①韓国ドラマロケ地ブランド化推進事業
 - ②肥育牛の飼料用米給与実証事業
 - ③比内地鶏新規需要開拓事業
- 3 県民が一丸となって“脱少子化秋田”を果たす(元気C)
- 4 高齢化社会に対応した、“安心医療秋田”、“協働社会秋田”をつくる(元気D)
 - ①認定看護師養成事業
 - ②新人看護職員研修事業

【主な内容】
 「ふるさと秋田元気創造プラン」を推進する事業のほか、公共交通の確保等の緊急を要する事業、経済・雇用対策としての県単独公共事業、雇用創出事業等

II. スポーツ・教育・文化でつくる元気な秋田 166,557千円

- ①県民読書活動推進事業
- ②南米架け橋事業

III. 公共交通ネットワーク等の確保 101,661千円

- ①大館能代空港利用促進対策強化事業

IV. 経済・雇用対策 3,265,794千円

- ①雇用事業
- ②消費の下支え対策(県単独公共事業)
- ③企業の経営革新・創業支援